

ヴィーナスシリーズ第3戦 マクール杯

プレッシャーを跳ねのけた! 小池礼乃が 初優勝で涙、涙の勝利者インタビュー

鳴門

4月25日~30日

WINNER 小池礼乃

BOAT RACE 鳴門



うれしいです。緊張もしたけど、地元の先輩からも声をかけてもらってリラックスすることができた。エンジンが良かったし必ず逃げるという気持ちで走りました。

鳴門で開催されたマクール杯は小池礼乃の圧巻の走りにより幕を閉じた。戦前はスピードクイーンメモリアルを勝った平高奈菜や地元の岩崎芳美らが有力視されていたが、どこか取りこぼしも目立ち、流れに乗り切れない。そんな中、小池は初日からなんと6連勝という完璧な成績で予選を首位通過。その堂々たる姿は、まさに「断トツ」のひと言に尽きた。勢いのついた小池は安定板がついた準優勝も危なげなく逃げ切り、デビュー12年目にしてついに優勝戦1号艇を手にした。

初の1号艇という重圧は相当だったはずで、スタート展示では2~5号艇が0台を踏み込んでプレッシャーをかけてきたが、本番の小池はコンマ05のトップスタートを決めると、1Mでは外の攻めを完璧に封じ、あっさりと逃げ切った。レース後、ピットに戻った小池。A級復帰も決まり、今後の活躍がより楽しみだ。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	①	小池 礼乃	1	05	1.47.5
2	③	高 憧 四季	3	08	1.48.4
3	②	松尾 夏海	2	12	1.51.0
4	⑥	前田 紗希	6	18	1.51.9
5	④	鎌倉 涼	4	16	
6	⑤	野田 なづき	5	15	

2連単 ①-③ 410円 2番人気 逃げ
3連単 ①-③-② 1100円 4番人気

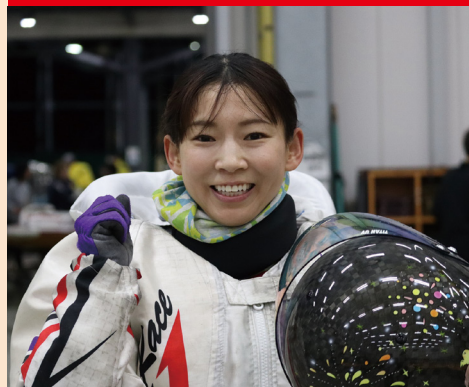
強風でも関係なかった 守屋美穂がインから 逃げ切り今年3度目、大村では4度目のV!

ヴィーナスシリーズ第5戦 マクール杯

大村

5月19日~24日

WINNER 守屋美穂



優勝戦当日は夕方ごろから風が強くなりはじめ、斜め向かい6mの強風が吹きつけた。10、11Rでは5コースがまくりで勝つなどF休み残しの守屋にとって厳しい条件だったが、インからコンマ14のトップスタート

守屋美穂はインから4連勝で主役街道を突っ走る。しかし予選ラストで4着までに入れば得点率1位だったものの、5着となってしまう。今井にトップの座を持っていかれてしまった。だが、勝利の女神は守屋に微笑んだ。準優10Rで今井は清楚に差されて2着。それに対して守屋は11Rを逃げ切りポールポジションを奪回した。

大村のマクール杯はヴィーナスシリーズとして行われた。Lオールスター直後ではあったが、守屋美穂を中心に中谷朋子や竹井奈美、今井裕梨、清楚翔子ら好メンバーが花を添えた。シリーズの中心はやはり守屋。開幕2戦目から4連勝で主役街道を突っ走る。しかし予選ラストで4着までに入れば得点率1位だったものの、5着となってしまう。今井にトップの座を持っていかれてしまった。だが、勝利の女神は守屋に微笑んだ。準優10Rで今井は清楚に差されて2着。それに対して守屋は11Rを逃げ切りポールポジションを奪回した。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	①	守屋 美穂	1	14	1.49.4
2	③	清楚 翔子	3	16	1.51.6
3	④	今井 裕梨	4	18	1.52.7
4	②	竹井 奈美	2	17	1.53.9
5	⑥	櫻本あゆみ	6	27	..
6	⑤	高橋 淳美	5	26	..

2連単 ①-③ 520円 2番人気 逃げ
3連単 ①-③-④ 1570円 6番人気

を決めると、内から伸び返して、余裕の逃げで今年3度目の優勝を飾った。ウイニングランでは右手を大きく振ってファンの声援に応え、表彰式でも大声援を浴びた。守屋の当地優勝はこれで4回目。GI復帰も決まり、現時点でも賞金は十分に年末を狙える位置にいる。今年のクイーンズクライマックスの舞台はここ大村だけに戴冠の可能性は大いにありそうだ。

ど緊張で…。スタートは絶対入っているというタイミングで起こして外が来ていなくてラッキーでした。目の前の1走1走でいいレースを見せられるように頑張りたいです。(年末に向けて) いい印象を持って帰れると思います。すごく緊張したけど優勝できて良かったです。